

ここが聞きたい



久保 たくひろ

貴洋 議長
(創政クラブ)



命と健康を守る暑さ対策について

Q 高齢者のエアコンの適切な利用に向けた支援策について伺いたい。

A 市民生活部長

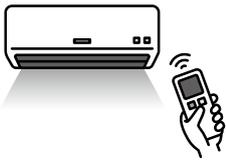
高齢者の熱中症対策については、自宅において、エアコンを適切に活用し、脱水や体温の上昇を抑えることが最も有効な手段であると考えています。

本市では、広報紙などによる周知のほかに、地域包括支援センターや介護予防教室など、特に地域の高齢者が集う通いの場で、エアコンの適切な使用を促すチラシ等を配布し、高齢者に向けた周知をお願いしています。

また、高齢者のエアコン購入を支援するため、省エネ家電購入支援補助金に高齢世帯枠を新たに設け、節電効率の高いエアコンの購入費用について、補助上限額を一般世帯から3万円を上乗せして支援すること、自宅におけるエアコンの設置促進につなげていきたいと考えています。

その他の質問

☆防災対策について



堀川 ほりかわ

悦郎 議長
(創政クラブ)



佐野市内の小・中・義務教育学校のプールについて

Q 今後、民間活力を活用しながら、運動公園プールに限らず、複合的プール施設を設置することについて見解を伺いたい。

A 市長

民間活力による複合的なプール施設の設置についてですが、佐野市運動公園プールは全体的に老朽化が進行している状況にあるため、まずはリニューアルも含めた改修の検討を始める段階だと考えています。

そのため、佐野市運動公園以外の場所での設置やプール以外の機能を持たせることは、現段階では予定していません。

なお、複合的プールを整備することになった際は、民間資金や施設運営における民間の知見の活かも視野に入れる必要があると考えています。

その他の質問

☆小・中・義務教育学校適正配置について
☆学校運営について



茂木 もてぎ

明男 議長
(創政クラブ)



高齢者緊急通報装置貸与事業について

Q 本市の高齢者緊急通報装置貸与事業の実績について伺いたい。

A 健康医療部長

高齢者緊急通報装置貸与事業は、要支援以上の介護認定を受けているひとり暮らしの高齢者の方などに、ボタンを押すとコールセンターに自動通報される緊急通報装置を貸与するものです。貸与の実績ですが、令和7年3月31日現在の貸与者は143人です。

本市における緊急通報装置の利用者は、近年減少傾向にありますが、対象のひとり暮らし高齢者が増加傾向にあることや、住民同士の見守り、安否確認のサービスである乳酸飲料愛のひと声事業との兼ね合いから、大きく増加するものではなく、前年と同程度で推移するものと予想していましたが、昨年度は9%ほど減少しています。

その他の質問

☆みかもクリーンセンターについて
☆市内小中学校の校庭照明設備、トイレについて
☆市内競技場及び運動場の照明設備について

